

11月3日に中央公民館で行われた
第34回「少年の主張」大会。
町内の小学5・6年生、中学生の代表者
15人が自らの思いを主張しました。

少年の主張



今伝えたい ことがある



小学校5年生の部



主張した子どもたち(敬称略・写真左上段からㄥ)

✧森 亜都彩(新延小)『たった一言』

✧森 駿和(西川小)『みんなで守ろう、地球の環境』

✧近藤 伊織(剣北小)『母の力に』

✧熊井 彩月(古月小)『ヘッドネーション』

✧酒井 那奈(剣南小)『助け合いの大切さ』

✧小西 明夏(室木小)『キャッチしよう 心のアンテナで』

主張した子どもたち(敬称略・写真左上段からㄥ)

✧藤井 月海(新延小)『勇気を出して』

✧頼永 美月(西川小)『命について考えませんか』

✧山中 櫻子(剣北小)『命の重み』

✧森永 修羽(古月小)『修学旅行で学んだこと』

✧菅原 愛真(剣南小)『笑顔で過ごせる世の中に』

✧伊藤 悠絢(室木小)『受けつごう、室木の神楽』



小学校6年生の部



中学生の部

主張した子どもたち(敬称略・写真左から)

✧星野 結那(鞍手中1年)『私の妹』

✧古賀 千郷(鞍手中2年)『「虐待」について私が思うこと』

✧浦部 花音(鞍手中3年)『見える差別と見えない差別』

教育長講評

今年の少年の主張大会は、どの内容も自分が体験したり、じっくり考えたりしてしっかりした論旨に基づいた内容でした。発表の態度につきましても、落ち着いて堂々と発表ができており、発表者の皆さんがいか

に練習に励まれたかがうかがえました。
自分の体験から、他人事ではなく今自分にできることを考えて具体的に行動し、前向きに成長していこうとする姿を感じ取ることができました。また、発表者の鋭い感性や豊かな表現力、生き生きとした表情、真剣なまなざしを目の当たりにして、本当に強く感銘を受けました。私たち大人が気が付かなかった学ぶべき内容がたくさんあったと思います。素晴らしい発表をありがとうございました。